

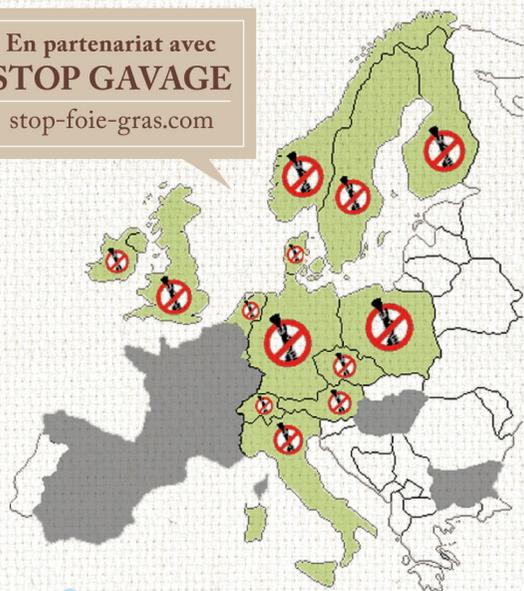
政府も王室もハリウッドも動く

フォアグラは、欧州連合「畜産動物の保護の原則」に反するものです。フォアグラ生産に用いられる「強制給餌」が非人道的で残酷という理由で、1999年のポーランド以降、既に殆どの欧州連合加盟国で禁止となりました。世界へと広がり、イスラエル、アルゼンチン、米カリフォルニア州などが禁止令を制定しました。

オランダ王室は、2009年に宮廷晩餐会でフォアグラを用いるのをやめると決定。伝統のイギリス議会でも、2012年に貴族院に付属の高級レストランからフォアグラを廃止。セレブ界でも、映画タイタニックに主演のケイト・ウィンスレットさんがフォアグラ廃止を訴えるなど、この流れは加速しています。

フォアグラ禁止令の分布図

En partenariat avec
STOP GAVAGE
stop-foie-gras.com



私たちができること

この残酷な食文化、もうやめにしたいですよね？
欧州委員会の勧告などでは、家畜に対しても虐待を許さない姿勢が明確ですが、産業界の圧力や伝統・慣習を覆すのは簡単なことではありません。産業界に「食品生産の倫理」を求めるためには、私たち一人一人の行動が必要です。消費者としての私たちが、

フォアグラを「買わない」・「食べない」・「良しとしない」という意思表示をすることで、日本への輸出が減り、生産国で地獄の苦しみを受けるガチョウやアヒルたちが減るのです。世界的に広がる「フォアグラ廃止キャンペーン」に、私たちも参加しましょう！

詳しくはこちら (日本語版) <https://stop-foie-gras.com/ja/>



フォアグラの給餌方法とその添加物は、ストレス、傷、病気を鴨およびガチョウに引き起こし、物理的、生理学的にも彼らの健康と福祉に非常に有害な状態をもたらす事から、決して許される事ではない。

—— 欧州連合 フォアグラの生産における鴨とガチョウの使用についての勧告 (1999年7月22日付)

ちなみに

美食の国ベルギーにはシェフが本物と間違ふほど美味しい植物性の疑似フォアグラ

「Faux Gras de Gaia」もあります！



デザイン&イラスト・Kazusa Nishikubo

連絡先：<http://www.ethicalvegan.jp/contact/>



体にも動物にも環境にも優しい「エシカルヴィーガン」の選択を。

日本エシカルヴィーガン協会

<http://www.ethicalvegan.jp/>

食品生産にも倫理規定を



もう、フォアグラ なんか やめよう

フォアグラはアヒルの肝臓。とっても病気のアヒルの肝臓。

正しい肝臓



フォアグラ



いかなる動物にも、不必要な苦しみや傷を与えるような給餌は行われるべきではない。

欧州委員会 動物福祉・健康部門
(1998年7月20日付、
理事会命令98/58/EC)

「フォアグラは、脂肪肝に苦しむ鳥の病的な肝臓である。」

欧州委員会 科学レポート
(1998年12月16日付)

ご賛同頂ける方は今すぐ署名を!
<https://stop-foie-gras.com/ja/manifesto>